

平成 26 年 5 月 29 日

知と医療機器創生宮城県エリア

研究者各位

知と医療機器創生宮城県エリアの事業推進にご協力を賜り大変に有難うございます。

本プロジェクトは、東日本大震災復興型で採択されて3年目を迎えております。被災地域を活性化して、復興、再生、さらに発展に繋げることが大きなテーマになっており、事業期間中の雇用確保、地域からの事業創出が求められております。雇用につきましては、本プロジェクト内で20名を宮城県内から雇用しており、また、昨年度本プロジェクトで設立しましたベンチャー企業においても技術者3名中2名を宮城県内から採用と、いろいろと努力をしているところです。事業化につきましては開発時間のかかる医療機器ということからすぐには難しいところですが、地域企業との連携状況が大切になります。

こうした観点から「第1回みやぎ医療機器創生産学官金連携フェア」を企画いたしました。関連機関のご支援・ご協力もあり、ブース出展企業は38社と想定を大きく超え、東北経産局、宮城県、仙台市、七十七銀行等事業化支援機関も11機関となり、東北大学医療機器開発シーズ34件を加え総数83件となります。また、医療機器開発を企業の視点から見た講演も同時開催いたします。添付しましたパンフ他の資料をご覧ください。

本フェアは、東北大学の医療機器開発研究者と地域企業との face-to-face の意見交換、情報交換を大きな目的としており、地域企業さんの期待は大きなものがあります。先生方におかれましても、今後の機器開発、試作品製作等で企業の要素技術を把握するよいチャンスになるかと思っております。

以上の趣旨をご理解下さり、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。また、17時30分より交流会を開くことにしております。こちらにも多数のご参加を賜りますよう、お近くの方々にもご連絡ください。ホームページ (<http://sendai-cyber.icr-eq.co.jp/>) より申込み下さい。

どうか地域の活性化にお力を賜りますようお願い申し上げます。

知と医療機器創生宮城県エリア
プロジェクトディレクター 後藤順一